

第25回 大東市地域公共交通会議 議事概要

- I 日時 令和8年2月18日(水) 午後2時00分～3時00分
- II 場所 大東市立市民会館 3階 中会議室
- III 出席者 委員23名(欠席6名)及び事務局4名(議決権総数21/24)
- IV 議題等
1. 開会
 2. 第24回大東市地域公共交通会議議事概要について(報告)
 3. 第1回大東市地域公共交通会議運賃協議部会について(報告)
 4. 不便地調査について
 5. 東部地域乗合タクシーの停留所「総合文化センター」の位置変更及びダイヤ改正について
 6. 公共交通の現状について
 7. 今年度の検討事項について

■議事内容

1. 開会

【事務局】 新委員紹介

2. 第24回大東市地域公共交通会議議事概要及び第1回大東市地域公共交通会議運賃協議部会について(報告)

3. 不便地調査について

<事務局より、「不便地調査」について説明>

【会長】

圏域を駅から500m、バス停から300mと設定した理由は。

【事務局】

様々な文献に駅から1,000mあるいは500mなどの記載があるが、本市は都心部であり他自治体でも多く用いられている500mを採用した。バス停については、一般的に300mが多く用いられている。なお、山間部は、道路勾配を考慮しバス停から200mとしている。

4. 東部地域乗合タクシーの停留所「総合文化センター」の位置変更及びダイヤ改正について

<事務局より、「東部地域乗合タクシーの停留所「総合文化センター」の位置変更及びダイヤ改正」について説明>

【会長】

変更したバス停の移動距離はどの程度か。

【事務局】

概ね 150m程度、徒歩 2, 3分である。

【会長】

本件の決を取る。

【全会一致で承認】

4. 公共交通の現状について

<事務局より、「公共交通の現状」について説明>

【委員】

南部地域コミュニティバスの令和7年度の利用者増は、大阪万博の影響があるのか。

【事務局】

利用者アンケートの利用目的は買い物と通院が多く、特に万博が影響しているとは考えていない。

【会長】

東部地域乗合タクシーの年度比較が令和6年度からとなっているのは。

【事務局】

令和5年4月から5コースを3コースに統合して運行している。今後、資料作成の際は、令和5年度から統計を取って年度比較を行う。

【委員】

東部地域乗合タクシー「北条コース」の乗合率の高い理由は。住民同士が乗合するような意識をもっているのか。

【事務局】

北条コースは運行ダイヤがニースにあっているためか、以前から人気があり乗合率が高い。今後も乗合率向上に努める。

6. 今年度の検討事項について

<事務局より、「今年度の検討事項」について説明>

【委員】

利用者特典事業について、刷新する「お出かけ公共交通マップ」に掲載しないのか。掲載すれば利用者増につながると思うが。

【事務局】

研究を始めた段階で、まだ掲載するには至っていない。

【委員】

利用者特典事業は早期に実施してほしい。協賛いただける店舗はあるのか。

【事務局】

協賛金募集の際に一部店舗に声掛けしているが、3～4件の店舗から協力いただけると伺っている。

【会長】

他に全体を通して、質問等はあるか。

【委員】

不便地に限ってアンケート調査は珍しい。調査の各戸配布は、どのように配布対象を設定したのか。

【事務局】

1万分の1の図面に圏域を落とし込み、それをベースに住宅地図で居宅及び店舗付き住宅等にマーキングし、河川等で圏域が分断されている地区も不便地に加えた。

【委員】

利用者特典事業は、スマートフォンが無い方はサービスを受けられないのか。

【事務局】

検討段階だが、費用、効率面で現時点では紙のサービス券等の配布は考えていない。一旦スタートし、利用者の意見も参考に必要であれば考えたい。

【閉会】

以上